

経済産業省「令和 5 年度補正 PHR 社会実装加速化事業」における 大阪・関西万博出展に向けた実証ユースケース 「話せる PHR ～あなた自身と健康チャット～」概要を発表 ～PHR を通じて“自然と健康になれる社会”の実現をめざす～

テクミラホールディングスの子会社である株式会社 Wellmira（以下、「Wellmira」）と、株式会社サステナブルパビリオン2025（以下、サステナブルパビリオン2025）、株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、事業者・生活者ともに開かれた環境で PHR が繋がり、より豊かなサービス・生活・体験が広がる未来につなげるべく、PHR サービス利用者の拡大とユースケースの創出を目指して経済産業省が実施する「令和 5 年度補正 PHR 社会実装加速化事業（情報連携基盤を介した PHR ユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業）」に採択されました。サステナブルパビリオン2025はサービス事業者、Wellmira 並びにドコモは PHR 事業者として、経済産業省の事業としての大阪・関西万博への出展に向けて、実証のユースケースである「話せる PHR ～あなた自身と健康チャット～」の概要を発表します。

本実証を通して、サステナブルパビリオン2025が提供する「Mirrored Body®」、Wellmira が提供する「カロママ プラス」、ドコモが提供する「健康マイレージ」の「ヘルスケア推定 AI」が、さまざまな事業者とユーザーの橋渡し役となることで、PHR サービスの裾野を拡げ、日本のヘルスケアサービスが発展することを目指します。



「話せる PHR ～あなた自身と健康チャット～」の概要

サステナブルパビリオン2025は、ユーザーのスマートフォン上に本人の分身となる 3D アバターを生成するサービス「Mirrored Body®」を 2025 年に公開予定です。「Mirrored Body®」に、Wellmira の AI 健康アプリ「カロママ プラス」が提供する、食事などのライフログデータや健康アドバイス、ならびにドコモの「健康マイレージ」が提供する、「ヘルスケア推定 AI」を用いた健康状態の推定スコアや影響した生活習慣のデータを連携させることにより、自分だけの健康アドバイザーを作り出すサービスの実現をめざします。

ユースケース内容:

本ユースケースでは、ユーザーは PHR 事業者の Wellmira およびドコモが提供するアプリに日々の食事情報やバイタルデータを入力します。これらのデータを基に、「カロママ プラス」「健康マイレージ」のアプリが提供する健康アドバイスを Mirrored Body®が受け取り、3D アバターとの対話機能や視覚表現を通じてユーザーに提供します。これにより、ユーザーは自身の健康状態を分かりやすく把握し、適切な対策を講じる動機づけを行います。

大阪・関西万博では、経済産業省の事業として出展予定のユースケース体験におけるデモンストレーションに加え、サステナブルパビリオン2025がブロンズパートナーとして協賛するシグネチャーパビリオン「null²」において、このユースケースを活用した体験を提供する予定です。

サステナブルパビリオン2025、Wellmira、ドコモの3社は、大阪・関西万博以降に向けたさらなる連携を、今後も検討してまいります。

■Mirrored Body®について

ユーザーが自身の多様なデータを一元管理し、自分と同じ見た目の 3D アバターや他者の 3D アバターとの対話を通じて、自分に関する示唆を得たり、モチベーションを高めたりすることを目指すサービスです。鏡に映る自分のように、生体認証と NFT 技術を組み合わせた唯一無二の分身をデジタル世界に作り出し、多種多様なデータに基づくシミュレーションや未来予測を行うことで、ユーザーの生活や他者との関わりをシームレスにサポートします。

URL:<https://sp-2025.com/mirrored-body>

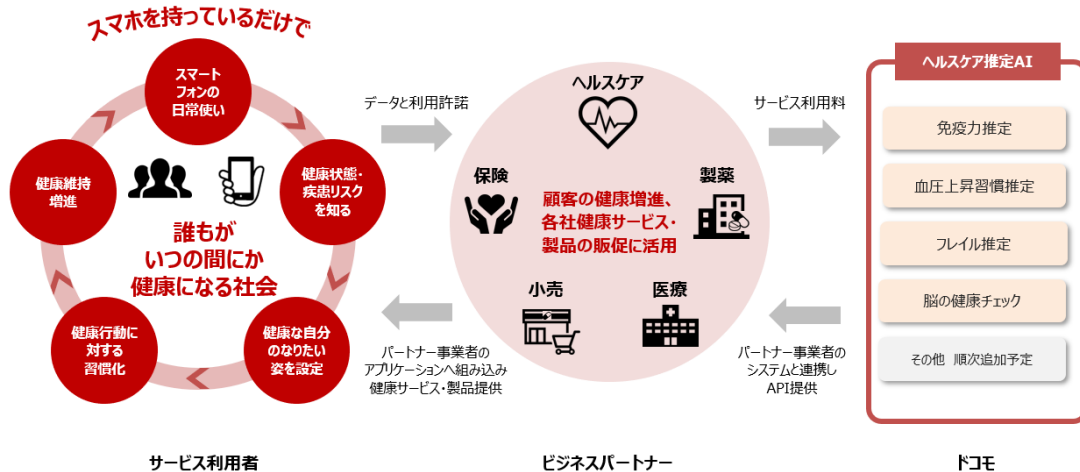
■AI 健康アプリ「カロママ プラス」について



食事・運動・睡眠などのライフログや健康診断データから、パーソナル AI コーチ「カロママ」が実践的な健康アドバイスをお届けする AI 健康アプリです。健康維持・増進やダイエットなど、ユーザーの目的にあわせてコースを選べるため、男女問わず幅広い年代の方にご利用いただいています。

URL:<https://calomama.com/>

■「ヘルスケア推定 AI」について



ヘルスケア推定 AI とは、スマホを持ち歩くだけでご利用者さまの生活習慣を把握し、ご利用者さま自身の健康状態の推定スコア(免疫力/血圧上昇習慣/フレイルなど)や影響した生活習慣のデータを提供することができます。これにより、意識変動を起こし行動変容につなげていくことで継続的な健康行動を促すことが可能です。また、ヘルスケア推定 AI は API 連携により様々なサービスへの機能提供が可能となっており、今後は様々なサービス事業者に対して展開してまいります。

■シグネチャーパビリオン「null」について



落合陽一氏をプロデューサーに迎え、テーマ「いのちを磨く」からインスピレーションを得た「鏡」をモチーフに、2つの革新的な体験を提供します。

1. 「未知の風景」を生み出すパビリオン建築

パビリオンは、特殊なミラー外装膜で覆われた巨大な構造物であり、素材から開発されたこのミラー外装膜が周囲の風景や人物を歪めることで、未知の風景を生み出す彫刻建築となります。建築そのものがヌルヌルと変形し、訪れる人々に新たな視覚体験を提供します。

2. 「未知の体験」を生み出すデジタルの身体による合わせ鏡

パビリオン内では、訪れた人々の身体がデジタル化され、有機的に変形し自律的に動作するデジタルの身体(Mirrored Body®)と対話する体験型シアターが展開されます。このデジタル化された自分との出会いは、有史以来行われてこなかった鏡の再発明を目指し、訪れる人々に新たな自己認識の体験を提供します。

■「令和5年度補正 PHR 社会実装加速化事業(情報連携基盤を介した PHR ユースケースの創出に向けた課題・論点整理等調査実証事業)」について

本事業は、実証後の2025年4月から開催される「いのち輝く未来社会」をテーマにした大阪・関西万博を通じて、事業者・国民がともに開かれた環境で多様なPHRとサービスが繋がり、新たな商品やサービスを生み出す事業者、それを安心して利用する国民の、より豊かな生活・体験が広がる未来への礎を築き、PHRによる“自然と健康になれる社会”の実現を目指しています。

本事業期間には、運動、睡眠、食事等の各テーマにおいて、PHR事業者及びサービス事業者の協調のもと、情報連携基盤「PHR CYCLE」を介し、サービス事業者1社に対し複数のPHR事業者のPHRが提供されることで、これまでにないユースケースを創出するとともに、PHRサービスを提供する仕組みを実証的に実現します。

PHR事業者とサービス事業者のマッチングを経て今回創出された10件のユースケースは、今後PHR事業者とサービス事業者により情報連携基盤「PHR CYCLE」との接続を行います。2025年4月以降には、創出されたユースケースを大阪・関西万博での国民の体験機会を設ける予定であり、PHRサービス利用者の拡大を目指して順次社会実装を進めてまいります。

本事業の詳細は公募サイト<URL:<https://phr-expo-data-utilization.meti.go.jp/>>をご覧ください。

■株式会社サステナブルパビリオン2025について

株式会社サステナブルパビリオン2025は、デジタルとフィジカルの垣根を越えて、人の体験できる時間や空間を拡げ「もっと自分を、新しい自分を生きる」ことを可能にする“究極のID基盤”である「Mirrored Body®」を開発しています。デジタルアバター概念を進化させる「Mirrored Body®」の仕組みや技術を標準化し、あらゆる人が社会的に活用できるプラットフォーム構築の実現に取り組んでいます。

株式会社サステナブルパビリオン2025について:<https://sp-2025.com/>

■株式会社 Wellmira について

『世界中の誰もが、自然に健康になれる社会を創る』をミッションとし、「テクノロジー・エビデンス・専門家ネットワークを活用し毎日の健康を自然にサポートできる社会システムの構築」を目指しています。

株式会社 Wellmira について:<https://www.wellmira.jp/>

■株式会社 NTT ドコモについて

NTTドコモは、日本国内で最大手の携帯電話事業者です。(携帯電話契約数:約9,012万 ※2024年6月時点)

NTTドコモは、「新しいコミュニケーション文化の世界の創造」に向けて、個人の能力を最大限に生かし、お客さまに心から満足していただける、よりパーソナルなコミュニケーションの確立をめざします。

株式会社 NTT ドコモについて:<https://www.docomo.ne.jp/>

<テクミラホールディングスについて>

【商 号】テクミラホールディングス株式会社

【本 社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

【上場市場】東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード:3627）

【代表者】池田 昌史

【URL】<https://www.tecmira.com>

【グループ事業内容】

◆ライフデザイン事業

知育・教育、健康、FinTech、キャラクター等におけるデジタルテクノロジーを活用したサービスとソリューションを提供

◆AI&クラウド事業

AI チャットボットやクラウドアドレス帳サービスなどの SaaS や AWS 等を活用した Tech ソリューションを提供

◆IoT&デバイス事業

通信デバイスの開発・製造や関連したプラットフォーム・アプリの開発を通じて、モノとインターネットを融合した価値を提供

<このニュースリリース・素材の提供に関するお問合せ先>**テクミラホールディングス株式会社**

担当：経営企画部 広報チーム

Email: info@tecmira.com

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

<https://www.tecmira.com>

※記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名は、すべて各社の商標または登録商標です。